

ディスコグラフィー掲載

ディスコグラフィー【2021No.177】(HP 掲載)

分類：LP

作曲家：ベートーヴェン

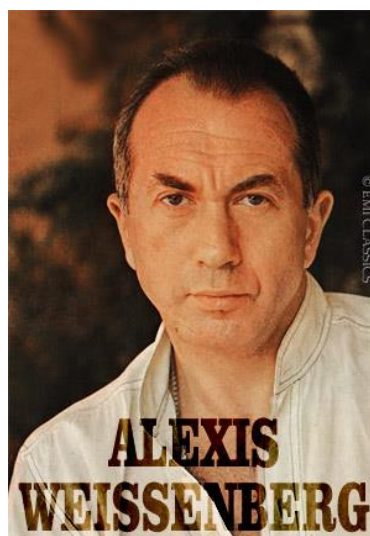
曲：ピアノ協奏曲第3番ハ長調・第5番変ホ長調

演奏：アレクシス・ワイセンベルク(ピアノ)・ヘルベルト・フォン・カラヤン指揮ベルリンフィル

発売：TOKYO FM

No. : TFMCLP-1039/1049

概要：



ネット上には下記のような作品説明があります。

「初出！ 未放送蔵出し音源！

1977年に収録されるも FM 東京に眠っていた未公開音源がついに発売！

カラヤン&ワイセンベルク黄金コンビ、この美音にしてこの迫力！

奇跡的に保存されていた、日本が誇る名エンジニア故若林駿介氏によるカラヤン&ベルリンフィルのステレオ・ライブ録音。1977年に収録されるも FM 東京に眠っていた未公開音源がついにディスク化されました。カラヤン&ワイセンベルク黄金コンビの往時多くの聴衆を魅了したこの美音にしてこの迫力は今聴いても圧巻です。(キングインターナショナル)」

【収録情報】

1. ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第3番ハ長調 Op.37
2. ベートーヴェン：ピアノ協奏曲第5番変ホ長調 Op.73『皇帝』

録音時期：1977年11月14日(1)、1977年11月17日(2)

録音場所：東京普門館

録音方式：ステレオ(アナログ/ライブ)

録音エンジニア：若林駿介

ZANDEN のリストには、TOKYO FM レーベルの情報はありませんので、ピアノ協奏曲第3番は、RIAA の正相から聴き始めましたが、オーケストラの音が散漫なので、すぐに逆相にしました。そしてイコライザーカーブを替えていき、TELDEC か DECCA かということになりましたが、ワイゼンベルクのピアノの響きの豊かさで DECCA を選択しました。クレジットを見ると、キングの制作で、キング関口台のスタジオが使われているので、納得しました。第4時定数は High のままで良さそうです。なお、キング関口台の最近のダイレクトカッティング盤は、DECCA の正相ですので、1977年当時と位相の関係は変っているようです。

当時にワイゼンベルクは評価が高く、煌びやかな演奏が持ち味だったようですが、この盤の録音のライブ演奏でもそれを伺えます。

ピアノ協奏曲第5番も、ZANDEN の設定を同じく DECCA、逆相、第4時定数 High で聴いていきました。

ワイゼンベルクの豪快なピアノリズムが、この曲の皇帝という名にふさわしい演奏です。カラヤン指揮ベルリンフィルも、ライブ録音の制約がありますが、ライブらしいリアルで壮大な演奏と言えます。

以上